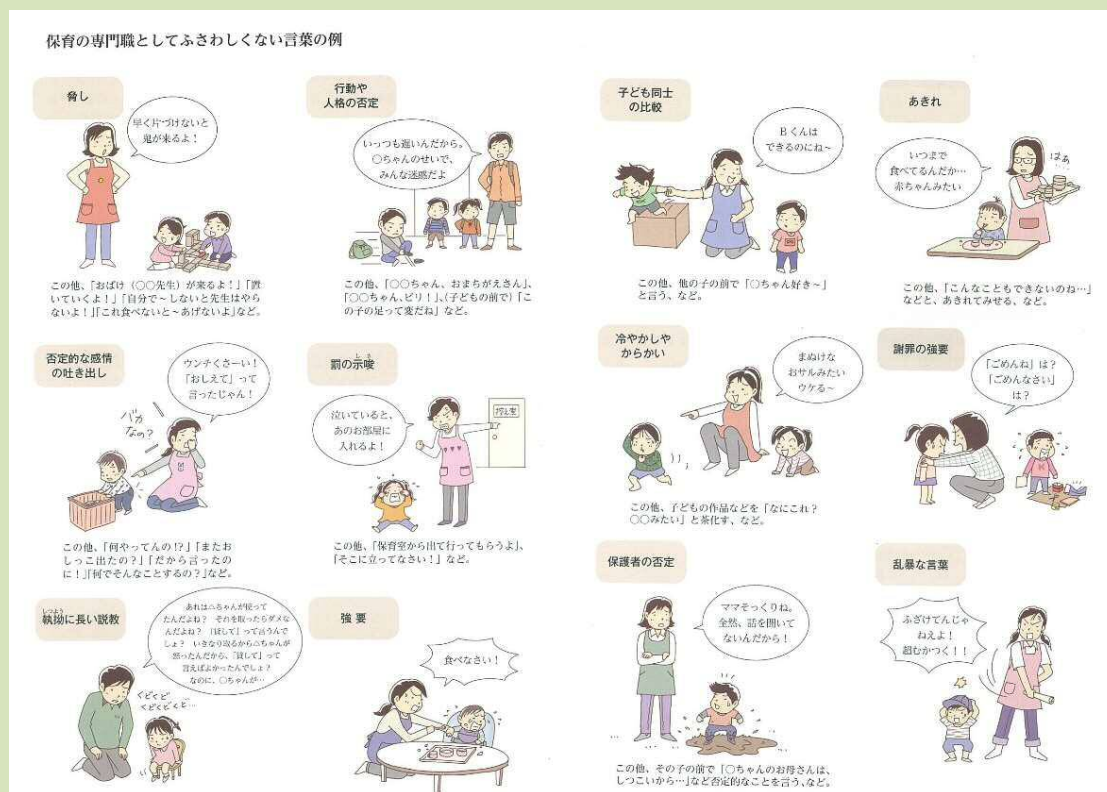


「不適切な保育」について

先日、静岡県のある園において「不適切な保育(園児への虐待)」により現役保育士が逮捕、実名報道までされました。この事件を皮切りに全国的にこの手の報道が相次いでいます。これにより「いままで信用していたけど、まさかうちの園でも？」と園に対して不信感を抱くようになったというケースもちらほらあるようです。(もしもわが園で、ご心配や気になることが少しでもありましたら、いつでもご相談ください。)

こうした事件が起きてしまう背景には、保育士の配置基準(保育士の数)の低さ、長時間勤務や給与の安さなどの保育士の処遇の問題や、園の体質、職員の研修内容の質などなど、単純にその保育士たちの資質の問題だけに留まらない、さまざまな原因が考えられますが、だからといって虐待が起きても仕方ないということにはなりません。虐待は決してあってはならないことです。

わが園においても、こうした事件を他人ごとにはせず、常に自分たちの言動を振り返りきっかけとしたいと思いますし、子どもたちが心から安心して楽しく過ごせる場であり続けたいと思います。同時に、保護者の方々にとっても、これまで通り安心して、お子さんを預けていただくことができるようにと考えています。



高山静子 『改訂 保育者の関わり方の理論と実践:保育の専門性に基づいて』 エイデル研究所 より

「保護者1日保育士体験」を再開します。

さて、「うちでは不適切な保育はありません！」といくら声を大きくしてお伝えしたところで「百聞は一見に如かず」だと思いますし、ちょうど園としても「コロナ禍になってから、なかなかおうちの方々に園での子どもの様子を見に来ていただく機会がないよね〜」、「担任とおうちの方とで、子どもの成長についてじっくり話す機会も取れていないよね〜」という話をしていて、以前にもおこなっていた「1日保育士体験」を再び始めようということになっていたところでしたので、「1日保育士体験」を年明けから再開しようと思います。

「保育参観」ではなく「1日保育士体験」としたのは、できるだけ日常の保育の様子、子どもたちの姿を見て頂きたいので、「参観日」のようなたくさんの方が一度に観に来るようなものではなく、すくすく、きらきら、それぞれ1日1組ずつとし、実際に子どもたちとかかわりながら、子どもたちの様子を見ていただき、お昼寝の時間などを利用して、担任とじっくりお子さんの成長について確認し合う時間を取ればと思っ

詳しくは次ページの「保護者1日保育士体験のご案内」をご覧ください。